

「白根郷地区」の特産物の紹介

新潟平野のほぼ中央部に位置する「白根郷地区」は、県内でも有数の農業地帯で、本地区は信濃川と中ノ口川に囲まれた輪中地帯であり、水稻を中心に行われていました。

近年では果樹、野菜、花き・花木などの栽培も盛んになっています。また、新潟市中心部からも近いことから、直売所や観光果樹園などが整備されています。

「白根郷地区」の主な特産物を紹介します。



○果樹



「ル レクチエ」

良い香りととろける舌ざわりが人気です。今から約100年前にフランスから苗木が輸入され栽培が始まりました。白根郷特産の「西洋なし」です。



「もも」

白根郷の桃栽培は江戸時代初めにはすでに始まっていたといわれています。「あかつき」「日の出」「浅間白桃」「白根白桃」などが栽培されています。



「ぶどう」

白根郷では、巨峰を中心に、30種類以上のぶどうが栽培されています。



「日本なし」

白根郷のなしの栽培面積は、県内第1位。多くの品種が栽培されています。

○野菜



「えだまめ」

近年、白根郷で作付が増えています。「しろね茶豆」の名前で販売されています。



「いちご」

「越後姫」は厳しい品質管理によって高い市場評価を受けています。



「きゅうり・トマト」

鷺巻地区・大郷地区を中心に、温室ハウスで栽培されています。



「食用菊」

「かきのもと」の名で親しまれ、最近は化粧品の原料としても注目されています。

○花き・花木

主に、チューリップやユリの切り花及びアザレアなどの鉢物が栽培されています。

当地区へお越しの際は、是非ご購入して下さい。